

# セットアップガイド

## BRD-SM4

この度は、「BRD-SM4」（以下、本製品と呼びます。）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
ご使用の前に【本書】をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いいたします。

### 動作環境の確認

	Blu-ray Disc/DVD映像編集時、 Blu-ray Disc/DVD映像再生 <sup>※2</sup> 時	ブルーレイ ディスク Blu-ray Disc/DVDデータ書込時
対応機種 <sup>※1</sup>	本製品が「取付可能なドライブベイ（5インチベイ）」とSerial ATAインターフェイス <sup>※3</sup> を搭載したDOS/Vマシン	
対応OS	Windows Vista <sup>™</sup> *32bitのみ、Windows XP Service Pack 2、 Windows 2000 Professional Service Pack 4	
搭載CPU	Pentium D 935(3.2GHz)、 Core 2 Duo E6400(2.13GHz)以上	Pentium 4 1.8GHz以上
メモリ	512M/バイト以上（1G/バイト以上推奨）	512M/バイト以上
ハードディスク	空き容量 30G/バイト以上（Blu-ray映像編集時は60G/バイト以上推奨）	
ディスプレイ	1024×768ピクセル以上の解像度	
インターネット	本製品をご利用の際には、インターネット接続環境が必要です。	
対応メディア <sup>※4</sup>	●B：D：BD-R、BD-RE <sup>※5</sup> 、BD-ROM ●DVD：DVD+R <sup>※6</sup> 、※7、DVD+RW、DVD-R <sup>※7</sup> 、※8、DVD-RW、DVD-RAM <sup>※9</sup> 、DVD-ROM ●C：D：CD-R、CD-RW、CD-ROM	

メディア	メディアの速度	メーカー名
1層BD-R	4倍速	Panasonic
	2倍速	ソニー、TDK、Panasonic、日立マクセル、三菱化学
2層BD-R	4倍速	Panasonic
	2倍速	TDK、Panasonic
1層BD-RE	2倍速	ソニー、TDK、Panasonic、日立マクセル、三菱化学
	2倍速	Panasonic
2層BD-RE	2倍速	Panasonic
1層DVD+R	16倍速	太陽誘電、日立マクセル、三菱化学、リコー
	8倍速	ソニー、太陽誘電、日立マクセル、三菱化学
2層DVD+R	8倍速	三菱化学、リコー
	2.4倍速	日立マクセル、三菱化学
DVD+RW	2.4倍速	リコー
	8倍速	日立マクセル、リコー
1層DVD-R	4倍速	日立マクセル、三菱化学、リコー
	16倍速	ソニー、太陽誘電、日立マクセル、三菱化学
2層DVD-R	8倍速	太陽誘電、日立マクセル、三菱化学
	8倍速	三菱化学
DVD-RW	4倍速	三菱化学
	6倍速	ピクチャー、日立マクセル、三菱化学
DVD-RAM <sup>※11</sup>	4倍速	ピクチャー、日立マクセル、三菱化学
	5倍速	Panasonic、日立マクセル
CD-R	3倍速	Panasonic、日立マクセル
	太陽誘電	Panasonic、日立マクセル
CD-RW <sup>※13</sup>	三菱化学	

※1 より詳しい対応機種情報を対応製品検索エンジン「PIO」にてご案内しております。  
<http://www.iodata.jp/pio/>

※2 市販のBlu-ray Discタイトルおよび市販のレコーダーで録画したBlu-rayを再生する際には、以下の環境が必要です。  
●OS: Windows Vista<sup>™</sup>/Windows XP Service Pack 2  
●メモリ: 1G/バイト以上  
●チップセット: 945/955/965/975/G33/P35  
●以下の条件を満たしたグラフィックアクセラレータボード  
・PCI Express接続  
・NVIDIA社GeForce 8400GS以上またはAMD社Radeon HD 2400以上を搭載  
・ビデオメモリー256M/以上を搭載  
・(デジタル接続の場合) HDCPIに対応したDVIもしくはHDMIコネクタを搭載  
・最新のドライバがインストールされていること  
※3 ●ディスプレイ(デジタル接続の場合) HDCPIに対応したDVIもしくはHDMIコネクタを搭載したディスプレイ  
※アナログ接続での再生は2010年まで

※4 ●書き込みは12cmメディアのみ対応しております。  
●BD・DVD・CDへの書き込みを行う際には、各々の書き込み速度に対応したメディアが必要です。  
※5 カートリッジタイプのBD-REメディアには対応していません。  
※6 2層DVD+Rメディアにマルチセッションにて書き込みを行った場合、他のドライブでは最初のセッションのみ読み込むことができます。  
※7 2層DVD±Rメディアに、「B's CLIP」にて書き込みを行った場合、他のドライブで読み書きできません。  
※8 2層DVD-Rメディアへの書き込みは、ディスクアットワンスのみ対応しております。  
※9 カートリッジから取り出し不可能なメディア(TYPE I)および2.6G/バイト/面のメディアには対応していません。  
※10 ●推奨メディア以外を使用した場合は、メディアの品質により正常に書き込みできないことがあります。  
●最新の情報は、弊社ホームページにてご確認ください。  
※11 2倍速以下のメディアは読み込みのみ対応しております。  
※12 弊社は記載の倍速メディアにてメディアの倍速を超える高速の書き込みを確認しておりますが、全ての環境についてメディアの倍速を超える高速の書き込みを保証するものではありません。また、メディアメーカーへの本製品でのメディアの倍速を超える高速の書き込みに関するお問い合わせはご遠慮ください。  
※13 700M/バイトのメディアでは最大16倍速書き込みになります。

## 1. 準備しよう

### 内容物を確認します

☐ にチェックをつけながら、ご確認ください。  
万が一不用品がございましたら、弊社サポートセンターにご連絡ください。

- ☐ ドライブ(1台)
- ☒ セットアップガイド(本書/1枚)
- ☐ BD Pro Toolsコレクション for BRD-M4 (DVD-ROM/1枚)
- ☐ Ulead DVD MovieWriter CPRM対応キーダウンロードのご案内(1枚)
- ☐ 取り付けネジ(4本)
- ☐ ハードウェア保証書(1枚)→

#### ハードウェア保証書について

「ハードウェア保証書」と「保証規定」は、本製品の箱に印刷されております。本製品の修理をご依頼いただく場合に必要となりますので、大切に保管してください。

### 各部の名称

#### ドライブ前面



#### アクセスランプ

読み書き・イジェクト時に点灯/点滅します。

緊急イジェクトホール  
メディアが取り出せなくなった場合に使用します。

イジェクトボタン  
トレイの出し入れを行います。

アクセスランプの点灯/点滅中は、パソコンをリセットしたり、電源を切ったりしないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。

#### ドライブ背面



#### Serial ATAコネクタ

パソコンのSerial ATAケーブルを接続します。

#### Serial ATA電源コネクタ

パソコンのSerial ATA電源ケーブルを接続します。

## 製品仕様

ドライブ名	SW-5583(OEM供給元:パナソニックコミュニケーションズ株式会社)										
インターフェイス仕様	Serial ATA										
設置条件	設置方向: 水平、垂直 (垂直は12cmメディアのみ対応)										
ディスクローディング方式	トレイタイプオートローディング										
データバッファサイズ	8M/バイト										
書き込みエラー回避機能	搭載										
最大書き込み/読み込み速度	BD※	1層 +R	2層 -R	1層 -RE	2層 -RE	1層 ROM	2層 ROM				
	書き込み	×4	×4	×2	×2	-	-				
	読み込み	×4	×4	×2	×2	×4	×4				
	DVD	1層 +R	2層 +R	+RW	1層 -R	2層 -R	6層 +R	RAM			
	書き込み	×16	×8	×8	×16	×8	×6	×5			
	読み込み	×16	×8	×8	×16	×8	×8	×5			
	DVD	1層 ROM	2層 ROM	CD	-R	-RW	ROM				
	書き込み	-	-	書き込み	×40	×24	-				
	読み込み	×16	×8	読み込み	×40	×32	×40				
	※ BD×1の転送速度はDVDの×3.25に相当します。										
	平均アクセスタイム	●BD-ROM : 210ms      ●DVD-ROM : 170ms ●DVD-RAM : 350ms    ●CD-ROM : 150ms									

### シリアル番号(S/N)をメモします

シリアル番号(S/N)は本製品底面に貼られているシールに印字してある12桁の英数字です。  
(例: A0A0000000XX)  
シリアル番号(S/N)を下の枠にメモしてください。

型番 BRD-SM4  
シリアル番号: A0A0000000XX  
定格: DC5V 1.5A DC12V 1.0A  
※アイオーデータ機器

シリアル番号(S/N)は以下の際に必要な場合があります。

最新版ファームウェア等のダウンロード <http://www.iodata.jp/lib/>

ユーザー登録 <http://www.iodata.jp/regist/>

## 2. 接続しよう

### ご注意

- お使いのパソコンによっては、BIOSの設定が必要です。本製品が認識されない場合は、パソコンのBIOSを確認してください。パソコンのBIOSの設定方法はパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- Serial ATAインターフェイスをRAIDモードに設定しないでください。

#### 手順.1

パソコンと周辺機器の電源を切り、パソコンの電源ケーブルをコンセントから抜きます。

#### 手順.2

パソコンのルーフカバー、5インチベイのカバーを外し、本製品を取り付けます。  
ルーフカバー、5インチベイのカバーについてはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

#### 手順.3

各ケーブルを接続します。

##### ① Serial ATAケーブル

パソコン本体から出ているSerial ATAケーブルを、本製品のSerial ATAコネクタに接続します。

※本製品にはSerial ATAケーブルを添付していません。パソコン本体にSerial ATAケーブルがない場合は、別途ご用意ください。

##### ② Serial ATA電源ケーブル

パソコン本体から出ているSerial ATA電源ケーブルを本製品のSerial ATA電源コネクタに接続します。

※本製品にはSerial ATA電源ケーブルを添付していません。パソコン本体にSerial ATA電源ケーブルがない場合は、別途ご用意ください。

### 注意

#### ケーブルには向きがあります

Serial ATAケーブルの凸部が右側、Serial ATA電源ケーブルの凸部が左側になるように挿入します。  
逆向きでは挿し込めないようになっていますが、無理に差し込もうとすると、コネクタが破損します。

※パソコンによってSerial ATAケーブルの形状が下図と若干異なる場合があります。Serial ATAケーブルであれば仕様は同じですので、凸部の向きにだけご注意ください。ご使用ください。

#### 凸部

Serial ATA電源ケーブル

#### 凸部

Serial ATAケーブル

#### 手順.4

添付のネジで本製品を固定します。  
パソコンによって、ネジ穴の場所や数が異なります。詳しくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

#### 手順.5

パソコンのルーフカバーを取り付け、ケーブルや周辺装置を元に戻します。

## 3. 確認しよう

### 正常に使用できるかを確認します

パソコンを起動して「マイコンピュータ」(または「コンピュータ」)を開き、本製品のアイコンが追加されていることを確認します。アイコンが追加されていれば、本製品をご使用いただけます。

#### アイコンの追加を確認

Windows Vista<sup>™</sup>の場合

Windows 2000の場合

↑ (画面例: Windows XP、メディア未挿入、Fドライブとして認識している場合)

### 注意

- ドライブ文字(番号)は環境によって異なります。
- ドライブ名称は挿入されているメディアにより異なります。  
(例: Windows XPで空のDVD-Rメディアを挿入すると「CD-ROM」と表示されます。)

### こんなときには

#### アイコンが追加されていない場合

- 「表示メニュー」の「最新の情報に変更」をクリックしてみてください。
- ケーブルの接続が正しく行われていることをご確認ください。  
(パソコンの電源を切り、再度ケーブルを抜き差ししてください。)
- 添付DVD-ROMに収録されているQ&Aの「困ったときには」/「パソコン接続時の問題」の対応をご覧ください。

## 注意事項

### その他ご注意

- ケーブルを抜くときは、ケーブル部分を引っ張らないで、コネクタを持って抜いてください。
- 一部のウイルス対策ソフトがインストールされている場合には、動作が不安定になる場合があります。
- 本製品にメディアを入れたまま移動したり傾けたりしないでください。本製品やメディアを破損します。
- 本製品を長時間使用した場合は、一旦メディアを取り出し数分おいてから書き込みを行ってください。
- 本製品はパソコンの省電力機能には対応していません。

裏面へお進みください。→



